

目標達成計画

作成日：平成 30年 4 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	夜間などいろいろな場面での想定による訓練の回数がまだ少なく、消防署からの指摘を受け改善しながら、行っていく必要がある。又近隣との連携を深めていく事も必要である。	夜間、地震、ライフラインの確保など想定を工夫しながら近隣との連携や職員同士の連携をしながら入居者の安全確保の為に多彩な避難訓練の実施に努める。	夜間想定での避難訓練、避難用の滑り台の使用法検討、近隣との避難訓練、ライフラインの確認と確保、消防からの指導を生かし職員が全員経験できる様に工夫していく。	12ヶ月
2	14	認知症の症状がある高齢者であっても個人の誇りを大事にしていきたい、そのためにはどのような関りが大切なのか、関りが変化していきけるような取り組みが必要である。	個人の誇り、尊重するということはどういう意味なのか研修し、プライバシーの保護と個人の尊厳を大切に出来るチームになる。	「個人の誇り、尊厳とは何か」を研修し、自分の事に置き換え考えてみる。そして、担当の利用者について考える。プライバシーの保護とは何なのか、個人の尊厳とは入居者の立場になって考える。スタッフの意識付けをして行く。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。